

矢沢地区戦没者追悼・平和祈念式 開催終了のお知らせ

花巻市社会福祉協議会矢沢支部では、毎年8月15日に開催しておりました矢沢地区戦没者追悼・平和祈念式について、開催を終了する運びとなりましたことをご報告申し上げます。

なお、花巻市主催の令和6年度花巻市戦没者追悼・平和祈念式は8月10日（土）10時から日居城野運動公園内中央広場において開催予定となっております。

この件に関する問い合わせ先：
花巻市社会福祉協議会矢沢支部 ☎ 41-8739

♡ 岩手大好きアナの特別授業 ～ 33年間の感謝を込めて ～

《 矢沢明朗大学 7月講座 》

7月11日、矢沢明朗大学7月講座は講師にえむえむ花巻の放送局長落合昭彦さんを5年振りにお迎えして行われました。落合さんは何故ローカル局しかも岩手の地を選んだのか？などのエピソードをユーモア交えて話され、更に岩手の良さ、花巻の良さ、そして矢沢の良さを様々な奥深い経験・知識をもとに話され、参加した55名の聴講生の皆さんは納得の表情を浮かべておりました。また、言葉一つひとつの説明にも落合さんの岩手愛が伝わり、引出しの多さと聞く人の心を掴む話術に受講生の皆さんは時間を忘れ魅了されていました。



矢沢郷土史を手に評価する落合さん



資料を手に熱心に聞き入る受講生の皆さん

【明朗大学8月講座のご案内】

＝避難所生まれのアーティストが伝える震災講話＝

期日：8月23日（金）10時～11時30分

会場：矢沢振興センター大広間

講師：東日本大震災・原子力災害
伝承館 遠藤昭三氏

講座：13年続くダンボールアート
～避難所生まれのアーティストが伝える震災講話～

講師のプロフィール

1955年 福島県双葉郡葛尾村出身、現在郡山市在住

2011年 福島県富岡町で東日本大震災により被災
東京電力福島第一原発事故で郡山市に避難
ダンボールアートの取り組みを始める

2019年 語り部としての活動をスタート

2024年 東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部
派遣事業での活動を開始

皆様のご来場をお待ちしております！



花巻市議会報告会

市民と議会との懇談会を開催します！

日時：8月6日（火）18時30分～20時00分

会場：矢沢振興センター・大広間

内容：6月定例会の概要、常任委員会の活動報告、
意見交換（悪臭問題、空き家・有害鳥獣対策等）
皆様のご出席をお願いいたします。

♡ 赤ちゃんの元気な泣き声が響きます！

今年度も矢沢地域振興会の子育て支援事業部会（伊藤裕子部会長）10名のスタッフは、やさわこども広場で赤ちゃんとお母さんを対象に子育て支援に奮闘しています。毎月第二・第四水曜日の月2回（8月を除く）10時から矢沢振興センター大広間を開放しています。気楽に顔を出してください。お待ちしております！ 8月はお休みとなります！



子育てスタッフの皆さんが
美味しい食事を準備！

【 矢沢地域振興会 令和 6 年度 交付金事業を承認 】

矢沢地域振興会は、6月28日に第1回の役員会を開催し、交付金事業の執行について協議を行いました。

役員会に先立ち6月10日に、交付金事業査定委員会で各種団体や各行政区から要望のあった事業について、現地調査を含めて査定をおこない、役員会に提案・承認されました。

申請は事業数 50 件、総額 10,194,000 円。査定の結果、今年度取り組む事業数 47 件、総額 8,865,000 円となりました。なお、今年度の事業予算額は 915 万円となっており、予算に対し査定率は約 96.8%。今後事業の推移をみて予算の適正な執行に努めたいと考えています。

◎ 承認された事業内訳（金額は見込み）

- ・ 矢沢地域振興会（8 事業（生涯学習・高齢者対策・子育て支援・地域情報等））：2,582,000 円
- ・ 各種団体（7 団体（公民館事業・交通安全対策・民俗芸能・自主防災等））：1,340,000 円
- ・ 各行政区（9 行政区）：32 件 4,943,000 円

3 2 件の事業内訳

- 市道整備（簡易舗装）1 件 ● 防犯灯の新設 1 件（2 基）、更新（移設含む）9 件 ● 公民館の設備改修等 5 件
- 公民館の備品購入 1 0 件 ● その他（観光・自然保護・環境対策等）6 件

8 月 4 日（日）6 時～ 矢沢地区一斉清掃です！

矢沢地区公衆衛生組合協議会（谷川勝志会長）では、恒例の矢沢地区独自の一斉清掃を 8 月 4 日（日）6 時から行います。皆様のご協力をお願いします。



✿ 移動図書館（ごんが号）運行日程 ✿

8/8（木）	団地会館	13：40～14：00
8/8（木）	福祉センター	14：15～14：45
8/21（水）	高木観音	09：20～09：50
8/21（水）	振興センター	10：05～10：35
8/21（水）	やさわこども園	10：50～11：20

【事務局員のつぶやき】（アメダスとその観測環境とは？）

アメダス（AMeDAS）とは、自動的に（Automated）気象の（Meteorological）資料を（Data）集める（Acquisition）装置（System）の略で、正式名称は地域気象観測システムと呼んでいます。観測種目が風向・風速（平均・瞬間）・気温・湿度・日照時間・降水量を測定する地点は全国約 840 か所（約 21 km 間隔）となっています。その他に降水量だけの観測点は約 1,300 か所（約 17 km 間隔）、また積雪の観測点は約 330 か所あります。アメダスは昭和 49 年 11 月から展開し、順次改良を加えてきました。観測点を選定する場合は設置条件として高い建物等や人家の密集地帯を避けるなどの 4 項目があり、担当者はかなり吟味して選定したところですが、しかしながら設置時点と現状では環境の変化が激しく悩ましい状況となっています。



アメダス点検作業： アメダス蕨川（本州一寒い観測点）日最低気温記録 -27.6 度（昭和 63 年 2 月 17 日）

【ちなみに岩手県内の気象観測施設として、1 地方气象台（盛岡）、2 特別地域気象観測所（宮古、大船渡）、3 航空気象観測所（花巻）、4 地域気象観測所（30 地点）、5 地域雨量観測所（13 地点）、6 積雪深計（13 地点）、7 大気環境観測所（綾里）があり、県内の空を監視しています。】

話は元に戻り、吾輩が現役時代の平成 18 年、仙台管区气象台では当時東北大学教授（理学博士）で気象学では著名な学者の近藤純正先生を講師にお招きして談話会を開催しました。この講演の中で、近藤先生は「地球温暖化が叫ばれているが、気象庁のアメダス観測地点の環境悪化が気温上昇として表れている。」との自説を展開されました。当時はまだ一部で地球温暖化懐疑説があった時代でしたが、先生の話聞いて吾輩は観測環境悪化と温暖化を結び付けられては大変と思いました。生憎当日は管区台長と技術部長が所用で不在、どうしたものかと一瞬考えましたが、次の瞬間「先生、百歩譲ってアメダス地点の観測環境が悪くなっているとして対策が必要ですが、温暖化を考える場合、海水温も上昇しているのはどう説明されるのですか？」と大先生に対し今思えば赤面ものの質問ですが、先生から納得の得られる回答はなかったと記憶しています。いずれ社会・自然の変化に呼応し観測環境を維持するのは大変難しくなっていますが、アメダス担当者を中心に観測環境悪化防止のため、周囲の木々の伐採などの環境整備、よほど酷い場合には観測点移転考慮など様々な検討を重ねているのも事実です。